



2026年3月18日

## 日本民営鉄道協会が 2026年台湾観光貢献賞を受賞しました！

一般社団法人日本民営鉄道協会（東京都千代田区）では、2026年3月2日（月）、台湾観光庁から台湾観光に貢献した企業等に対して贈られる「2026年台湾観光貢献賞」を受賞しました。

1. この賞は、台湾の観光交流の促進に貢献した各国の企業・団体等を対象に、毎年表彰されるもので、当協会としては初の受賞となります。



2. 台湾側の話によると、この受賞の背景としては、次のことがあげられています。

(1) 当協会加盟の各社において実施されているキャンペーンやイベント等が、鉄道を軸とした日本と台湾における観光交流の拡大・地域活性化に向けた取り組みに貢献していると評価されたもの。

これまで台湾の鉄道会社、台湾鉄路局等との連携協定のもと、日本国内でラッピング列車を走らせたり、駅で台湾の物産展を行ったりして、交流活動を続けてきた民鉄会社も一定数存在してきました。

因みに、本年度は当協会とともに、①京浜急行電鉄株式会社、②青い森鉄道株式会社等の取り組みを通じて青森県の2者も、同じく受賞されました。

なお、「2026年台湾観光貢献賞」授賞式翌日の3月3日（火）から3月15日（日）まで台湾南部の嘉義県で開催された「2026台湾ランタンフェスティバル（台湾灯会）」においては、東武鉄道株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、阪神電気鉄道株式会社、株式会社阪急交通社がブース出展をするなど、日台観光交流に取り組んでいます。

(2) 当協会としても、日本と台湾における観光交流人口の拡大に向けて取り組みを行っており、これを評価されたもの。

当協会では、2024年7月に、台湾鉄道観光協会と「日本と台湾における鉄道観光プロモーションに関する協定書」を締結し、これに基づき、諸々の交流活動を進めてきました。

具体的には、毎年10月に開催の「鉄道フェスティバル」（昨年は10月11日（土）から10月12日（日）、お台場にて開催）での台湾との連携イベントの開催（当協会の展示ブースの隣に、台湾観光協会の展示ブースを設置）を行いました。



（鉄道フェスティバルでの台湾観光庁との連携）

さらに、「地方民鉄フォトコンテスト2025」において、台湾観光庁・台湾観光協会との連携企画として、台湾の鉄道のある風景も募集し、優秀作品には「台湾賞」を贈呈しました。

□ 台湾賞（5作品）



日野 里奈 さま  
(台湾鉄道旅)



船越 知弘 さま  
(台湾鉄道旅)



吉川 信男 さま  
(台湾鉄道旅)



温 仁助 さま  
(台湾鉄道旅)



南 輝明 さま  
(台湾鉄道旅)

(地方民鉄フォトコンテスト 2025 台湾賞受賞作品)

3. 当協会としては、引き続き、連携協定に基づき、日本と台湾の間の鉄道を通じた観光交流に尽力するとともに、加盟各社においては、同様の取り組みを更に促進されることを期待しています。

以 上